

エアーハツリ

GTAH-4PC

取扱説明書

このたびは **WIZ'A** エアーハツリをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。ご使用前に必ずこの取り扱い説明書をお読みになり、本機の特徴、能力、使用方法などについて充分にご理解の上、正しくご使用くださるようお願い致します。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

■表示について

⚠ 警告 この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者は死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

⚠ 注意 この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。また、取扱いを誤った場合には、エアーハツリ本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

目次

1. 安全作業のために.....	1 ページ
2. 各部の名称.....	2 ページ
3. 用途・特徴・仕様.....	3 ページ
4. 使用準備.....	3～4 ページ
5. 使用方法.....	5～6 ページ
6. 分解図・パーツリスト.....	6 ページ
7. 保守・点検・保管.....	7 ページ
8. 故障時の原因と処理方法.....	7 ページ

*この取扱説明書の記載内容は、改良のため予告なく変更することがあります。

*この取扱説明書の記載内容について、無断で転用することを禁じます。

1. 安全作業のために

■エアツール全般に関わるご注意

⚠ 警告

<エアホース>

- キズのついたエアホース、破損のおそれのあるエアホースは使用しないでください。
- ホースの内径は想定以上のものを使用してください。想定内径以下のものを使用すると、圧力低下の原因となり、十分な能力を発揮できません。
- 水道ホースなどの使用は絶対にしないでください。ホースが破裂し危険です。
- 延長ホースの使用など、ホースが長くなる場合は先端部(工具接続部)における圧力低下にご注意ください。
- エアツールを接続したまま、ホースを持って運んだり、引っ張ることはお止めください。

<作業準備>

- 作業前には必ず工具を点検してください。製品本体や付属品に異常がある場合は使用を中止してください。
- 使用前、使用後には必ずエアツール専用オイル(ISO VG32)を注油してください。
- 工具とエアホースとの接続は確実におこなってください。

<エア管理>

- 圧縮空気には、水分やゴミなどが含まれていますので、エアフィルター等を取り付けて除去してください。
- 必ず適正空気圧力で使用してください。指定空気圧力以上の使用は、製品の破損、事故の原因となり大変危険です。また指定空気圧力以下の使用は、作動不良の原因となります。
- 使用空気圧は一定空気圧で使用してください。空気圧の変動は、工具の消耗を早めたり、能力低下の原因となります。

<作業時>

- 動きやすい服装で、保護具(保護メガネ、手袋、ヘルメット、耳当て、安全靴、防塵マスクなど)を着用してください。また巻込まれるような服装(ネクタイ・車手等)での作業はしないでください。
- 周囲の安全を確認して安定した姿勢で作業してください。
- 他の人を近づけないようにしてください。特にお子様にはご注意ください。
- 本来の用途以外の使用や工具の能力を超えての使用はしないでください。
- 引火物のそばでの作業はしないでください。
- 寒冷地での使用は内部凍結にご注意ください。
- 運転中に異常や故障が発生した場合はただちに使用を中止し、点検、修理に出してください。

<工具の取扱い>

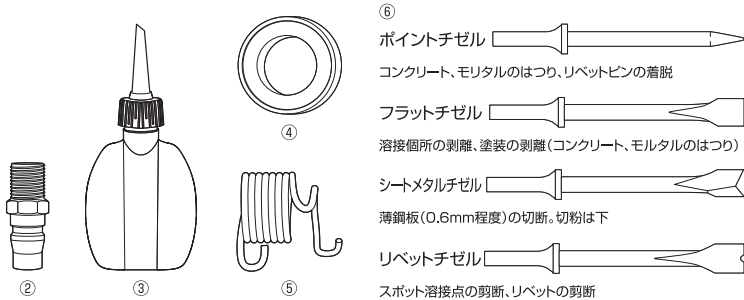
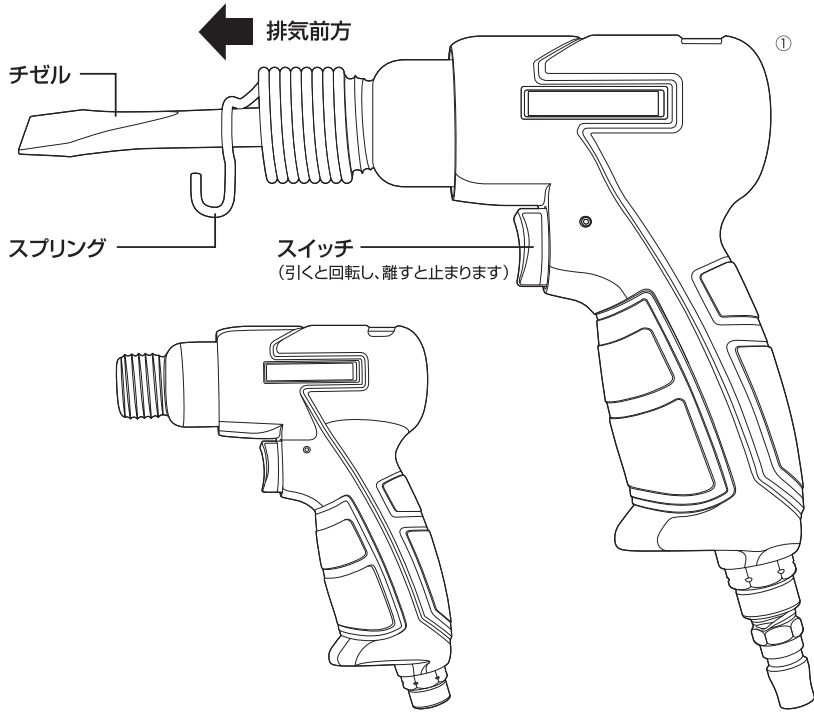
- 回転部には、手を触れないでください。
- 空転や空打など無負荷運転は避けてください。内部部品の摩耗を早め、能力低下をきたします。
- 回転方向を確認してから製品を起動してください。
- 作業を中断する時や終了する時は、エアを確実に遮断してください。
- 安易な分解や改造をしないでください。工具の破損、事故の原因となり大変危険です。
- 使用前、使用後には必ず給油するとともに、衝撃部、ギヤー、ベアリングなどには、グリース(リチウム系、二硫化モリブデン系)を定期的に塗布してください。給油を怠ると、圧縮空気中の水分で錆が発生し、工具が動かなくなる場合があります。
- 使用しない時は必ずエアホースを外してください。

■エアハツリキットに関するご注意

⚠ 警告

- 運転中はチゼル及び可動部には手を触れないでください。大変危険です。
- チゼルはスプリングでしっかりと締め付けてからご使用ください。
- ツールやビット交換等、取扱いの際はホース内の空気を空にしてからおこなってください。
- 空気圧は0.61MPaでご使用ください。
- 作業場所には作業関係者以外は近づけないでください。特にお子様は危険です。
- 揮発性可燃物(シンナー、ガソリン等)の近くでは絶対に使用しないでください。
- 作業には耳栓、保護メガネ、マスクを着用してください。
- ホコリの多い作業や、狭い場所での作業には防塵マスクを着用してください。

2. 各部の名称



No.	付属品・部品名称	数量
①	エアークリップ本体	1
②	エアークリップ(PT1/4)	1
③	オイルキャップ	1
④	シールテープ	1
⑤	スプリング	1

No.	付属品・部品名称	数量	
⑥	チゼル	ポイントチゼル	1
		フラットチゼル	1
		シートメタルチゼル	1
		リベットチゼル	1

3-1. 用途・特徴

エアータツリはエアークンプレッサーで圧縮された空気によって、エアーマーターの回転力を打撃部に伝え、チゼルに衝撃を与えながら、コンクリート・モルタル等のタツリ作業をおこなう工具です。

3-2. 仕様

型番	GTAH-4PC
ヘッド長さ	142mm
ストローク	43mm
本体重量	1.2kg
チゼル寸法	φ10.2mm×125mm
無負荷時打撃数	4500回/min
使用空気圧力	0.61Mpa(62kgf/cm ²)
空気消費量	80ℓ/min
エアークンプレッサー	内径6.5mm以上 ※内径8.0mm推奨
プラグ取付口	PT1/4

4. 使用準備

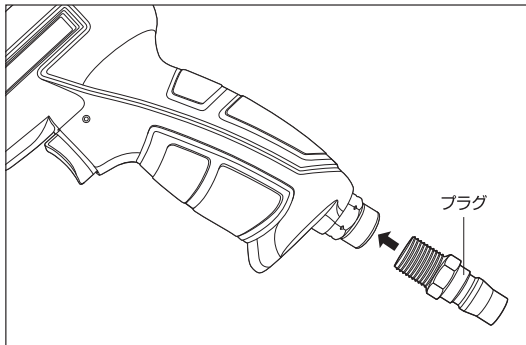
<タツリ本体・プラグの点検>

タツリ本体 / プラグ / その他の部品などに、変形・亀裂・破損などの異常がないか点検してください。異常がある場合は使用しないでください。

<プラグの取り付け>

エアークンプレッサー (付属品) をタツリ本体下部にある空気接続口に確実に取り付けてください。

- ①空気接続口のフタを外す (新品時)
- ②空気接続口にプラグを押し付けながら指で締め込んだ後、スパナ等の工具を用いてしっかりと締め付ける。



エアークンプレッサー防止の為、
シールテープを巻いてください。

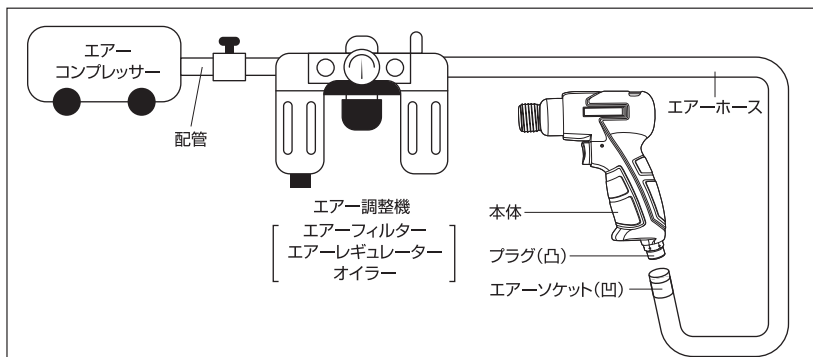
<エアークンプレッサーおよび配管の準備・点検>

△ 危険:エアークンプレッサー以外の動力源を使用しないでください。
空動レンチは圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス(酸素、アセチレンガス、プロパンガスなど)を使用すると爆発の危険があります。

※湿気や異物の混入がない圧縮空気を使用してください。故障、能力不足の原因になります。

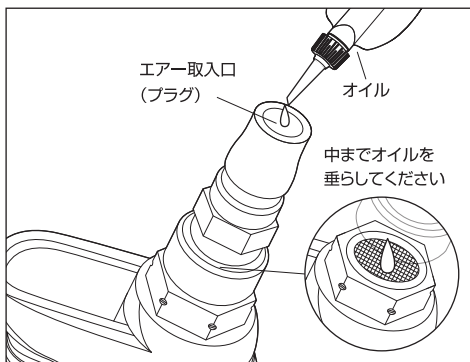
※エアータツリを最適な能力で長期間使用していただくために、エアークンプレッサー (エアークンプレッサーフィルター、エアークンプレッサーレギュレーター、オイル) の使用を推奨します。

<空気圧機器を使用した場合の配管例>



<ハツリ本体への注油>

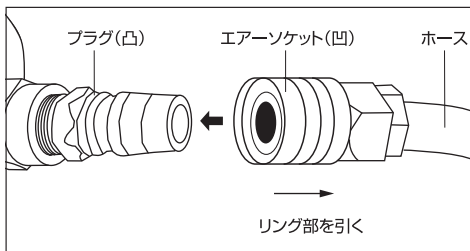
△ 注意: オイルは指定のエアツール専用オイル (ISO VG32) を使用してください。
灯油、軽油、ジェット燃料など可燃性の高い液体、および揮発性の液体は使用しないでください。



- ① エアホースを取外した状態で、スイッチを入れながら空気接続口 (プラグ) から指定のオイルを2～3滴注油してください。
- ② しばらくスイッチを握った状態にして、オイルを充分回してください。
- ③ エアコンプレッサの圧力を0.61Mpaに調整した上で、エアホースをプラグに接続してください。
- ④ 排気口をタオル等で覆いながら2～3秒ほど無負荷で動作させ、モーター内部にオイルを循環させてください。

<エアホースの接続>

- △ 警告: 不意な始動は避けてください。
エアホースを接続する際には、ハツリ本体のスイッチに手、指をかけないでください。エア源につないだ状態で、スイッチに手、指を掛けて持ち運ばないでください。誤って起動する恐れがあり、けがの原因になります。
- △ 警告: 接続後、エアホースを軽く引っ張って、プラグから抜けないことを確認してください。
エアホースが外れた場合、圧縮空気噴射によりエアホースが飛び回り、危険です。
事故・けがが破損の原因になります。



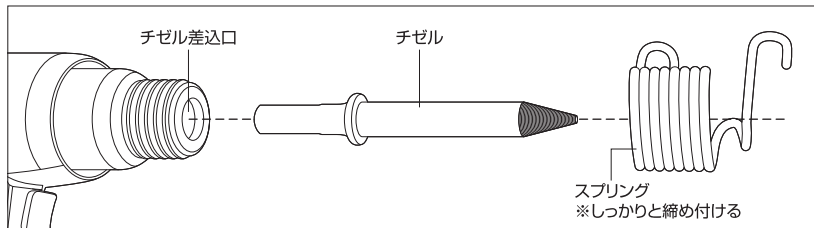
本体にエアホースを確実に接続してください。

- 例: ツータッチカブラの場合
- ① エアホースのプラグ (凹) のリング部を引きながら、レンチ本体のエアソケット (凸) に差し込む。
 - ② 「カチッ」と音がしてロックが掛かったことを確認する。

5. 使用方法

<チゼル取付>

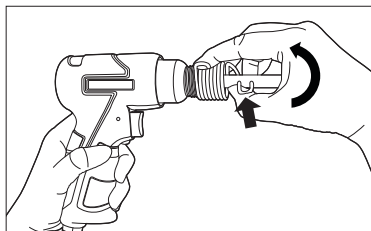
図のように任意のチゼルをはめ、スプリングをしっかりと締め付けます。
スプリングが確実に締められていないと、作業中に外れて思わぬ事故につながる可能性がありますので、スプリングの締め付けは必ず確認してください。



<スプリングの取り付け・取り外しの方法>

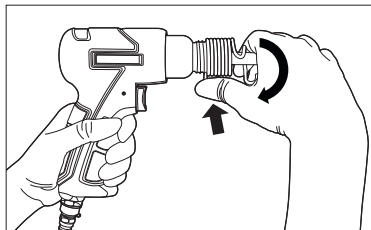
<取り付け>

- ①任意のチゼルをはめ、スプリングがまがらないように右に回しながら軽くはめてください。
- ②矢印の部分に指がかかるようにしてスプリングを持ち、右に回しながら奥までしっかりと締め付けてください。作業中に外れて思わぬ事故につながる恐れがあるので、スプリングの締め付けは必ず確認してください。



<取り外し>

矢印の部分に指がかかるようにしてスプリングを持ち、左に回しながら外してください。

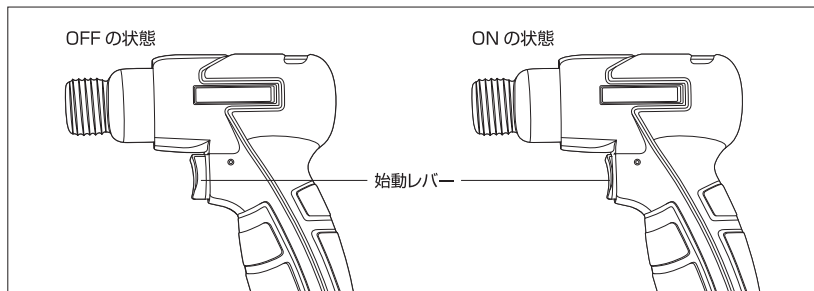


スプリングの取り付け・取り外しの注意

作業中は、スプリングに指をはさむ、手が滑り怪我をする、チゼルで手を傷つける等の事故が無いよう十分注意してください。必要に応じて手袋等を着用してください。

<始動レバー>

始動レバーを握ると ON の状態になり、離すと OFF になります。
ON/OFF の中間位置ではうまく作動しません。



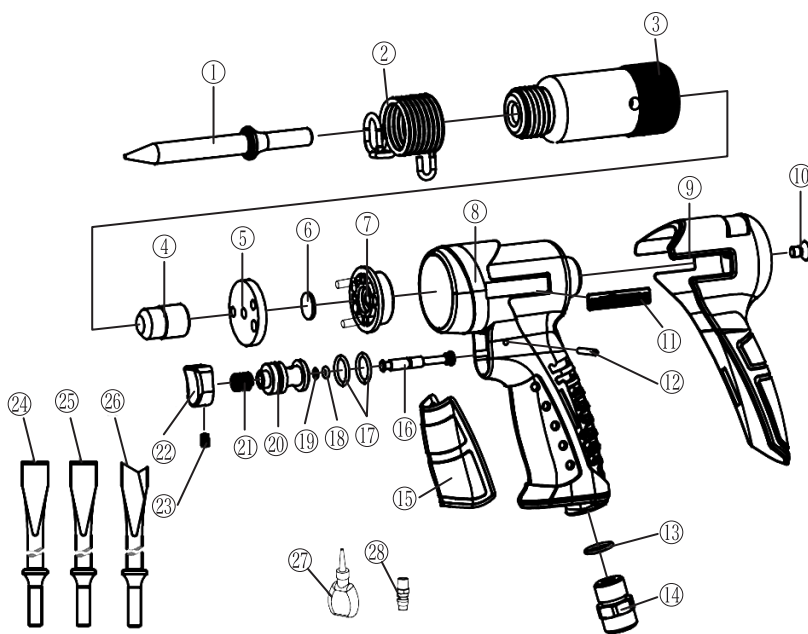
<使用空気圧の調整・確認>

エアーコンプレッサーは0.75KW(1馬力)以上の空気タンク付コンプレッサーを使用してください。コンプレッサーの出力及び空気タンクの容量が大きいほど、連続使用が可能になります。

①コンプレッサーの空気圧力を0.61Mpaに合わせてください。

長いエアーホースを使用している場合などに手元空気圧力が0.61Mpa以下に減圧している場合があります。その際には、低トルク設定時にモーターが回転しない場合があります。必ず手元空気圧が0.61Mpa前後を維持する様、調整してください。

6. 分解図・パーツリスト



No.	部品名	数量
1	Point Chisel	1
2	Retain spring	1
3	Cylinder	1
4	Piston	1
5	Valve Cap	1
6	Cap Slice	1
7	Cap Seat	1
8	Housing	1
9	Housing Cover	1
10	Bolt	1

No.	部品名	数量
11	Brand Label	2
12	Pin	1
13	O-ring	1
14	Air Inlet	1
15	Front Handle Sheath	1
16	Valve Stem	1
17	O-ring	2
18	O-ring	1
19	O-ring	1
20	Valve Stem Seat	1

No.	部品名	数量
21	Valve Stem Spring	1
22	Trigger	1
23	Bolt	1
24	Rivet Chisel	1
25	Flat Chisel	1
26	Sheet Metal Chisel	1
27	Oil Pot	1
28	Nipple	1

7. 保守・点検・保管

⚠警告:保守、点検、保管時はコンプレッサーの電源を切り、エアーホースを外してからおこなってください。

- 1.使用後はほこり、汚れなどを取除いてください。
- 2.保管は直射日光のあたる場所や、雨、湿気の多い場所に保管しないでください。
- 3.保管は子供の手が届かない場所に保管してください。
- 4.修理が必要になったとき、部品の購入などは販売店に連絡してください。

8. 故障時の原因と処理方法

故障	原因	処理方法
回転が遅い 回転しない	空気圧が低い	0.61MPa まで圧力をあげる エアー漏れがないかチェックする
	ツール内部にゴミや カーボンがつまっている	エアーツール専用オイル(ISO VG32) を空気と一緒に吹き込む
ツールより 水滴が吹き出す	コンプレッサーのタンクに 水分が溜まっている	コンプレッサーのドレンコックを開け、 タンク内の水を抜く

※その他不明な点がありましたら、お買い求めの販売店または、発売元までお問い合わせください。

輸入発売元

アークランド サカモト 株式会社

〒955-0091 新潟県三条市上須頃445番地

TEL.0256-33-6010

受付時間:土、日、祝日を除く 9:30 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00 MADE IN CHINA

修理、修理見積、部品購入などに関しては、販売店へ問い合わせてください。弊社では対応出来ませんのでご了承ください。
※改良のためお断りなく仕様、外觀などを変更することがあります。

※個人情報の取り扱いについて

弊社では、問合せの対応の為、利用目的をお知らせの上、個人情報を収集させて頂きます。

頂いた情報は適切に管理して利用目的以外には利用致しません。又、正当な理由がないかぎり、第三者への開示は致しません。